



阪神・淡路大震災(国道43号道路倒壊再現模型写真)

町政を問う!

一般質問



ひがしがきのりお
東垣 典雄 議員

能登半島地震では道路が寸断され救助の遅れと復旧が遅れる原因となっている。
さらに上下水道の被害が甚大となっている。

町道・上下水道の地震対策は!!

計画的に耐震化をすすめます

- ①本町の町道の修繕、補修の進捗状況は
- ②橋梁の耐震化の進捗状況は
- ③上下水道の耐震化の進捗状況は

町長

①各自治区より多くの要望を頂いており緊急性、老朽化や損傷度を考慮の上、検討し、順次工事を進めています。

②法令に基づき5年に一度点検を実施し修繕の必要な橋梁は計画的に長寿命化の工事をします。

③上下水道の管路の耐震化率は2.4%となっており今後は管路の更新時に耐震化をすすめます。

下水道管の耐震化は圧送管を除き自然流下管は可倒性接手を使用し流下能力を確保しています。

耐震化をしていない下水道処理場、下水道管の工事は多額の費用が必要のため、今後は更新時に耐震化をすすめます。



3月定例会での一般質問は12人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方など、現状方針を問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます)